



ロバパンカップ

第50回全道 (U-12)

サッカー少年団大会

札幌地区予選

全道大会進出おめでとう！！

福井野 クラブフィールズU-12

Liv.Fc U-12 札幌大谷地

SSS 札幌サッカースクール 北海道コンサドーレ札幌 B

石狩 FC レッド AGGREU-12

札幌地区代表を目指して各会場で熱戦が繰り広げられました。結果、上記8チームが全道大会に進出しました。全道大会は道東中標津で開催。7月末に行われた全道大会でも、札幌代表チームの健闘が光りました。

7月1日(日) 美原G Aブロック		
福井野	ベアフット 北海道 U-12	
2	2-2 0-0 0延前0 0延後0 2PK1	2

止んでいた雨が再び降りだし、濡れた芝生の中で、ベアフットと福井野の試合が始まった。両チームともに1対1の技術が高く、チーム全員で堅い守備をする点が共通している。

立ち上がり互いにロングキックとスルーパスから前戦につなぎ相手ゴールを目指した。4分、福井野は

きずな

右コーナーキックを4番がゴール前に上げ10番がシュート。先制点を挙げる。しかし5分、福井野のゴールキーパー1番がボールを持ったままペナルティエリアを出てしまい、ベアフットにフリーキックを与えてしまう。ベアフット10番は直接ゴールを狙いゴールキーパーがはじいたところを9番が詰めて、1対1の同点に追いついた。さらに雨が激しくなる中、福井野はトップ下10番を中心に攻めるが、ベアフットもセンターの5番から両サイドを使って反撃する。激しい攻防の中ついに18分、ロングパスを受けたベアフット18番が右サイドからドリブル突破しゴール前にパス、左からかけ上がった9番がゴールエリアで合わせて得点し、2-1と突き放す。しかし、20分に福井野9番にパスがつながり左サイドからのセンタリングをゴール正面で10番がシュートを決めて、2対2の同点として前半が終了した。

後半、選手は芝生に足を取られながらも互いに精一杯のプレーを続け、ゴールキーパーも守りをしっかり行う。だんだんと選手の足の動きは重くなり同点のまま後半が終了。延長でも互いに譲らずPK戦で決することに。ベアフットは二人がゴールの枠を外してしまい、1対2で福井野が全道大会にコマを進めた。



7月3日(日) 美原G Bブロック		
クラブフィールズ U-12	SS,LAVORO	
6	1-0 5-0	0

記念すべき50回目のロバパンカップ全道少年団大会Bブロック決勝は雨の降る中、SS.LAVOROのキックオフで試合は開始された。

クラブフィールズが押し気味にゲームを進めるが、SS.LAVOROも体を張った粘り強い守備で得点を許さない。しかし、前半19分、クラブフィールズ28番の左サイドからのキレのあるドリブル突破から、左足を鋭く振りぬぎ、ゴール右サイドネットにボールを突き刺し、1対0で前半が終了した。

後半5分。クラブフィールズの30番がゴールほぼ正面から放った強烈なミドルシュートがゴールネットを揺らし追加点を奪う。続いて、10分クラブフィールズ28番のドリブル突破から放ったシュートのこぼれ球を17番がゴールに押し込み、さらに、14分クラブフィールズ28番の右からのスループアスに27番が反応し、4点目を奪う。18分、クラブフィールズ12番からのパスをタイミングよく受けた27番がこの試合2点目となるゴールを決める。試合終了間際、クラブフィールズのゴール右からのフリーキックを受けた28番が冷静にゴールを決め、試合終了のホイッスルが鳴る。

SS.LAVOROは必死に反撃を試みるも、クラブフィールズのゴールキーパーの好セーブに阻まれ得点はできなかったが、両チームとも気持ちの入ったプレーを見せてくれた好ゲームとなった。

7月3日(日) 美原G Cブロック		
LIV.FC U-12	NORTE 札幌FC(A)	
2	0-1 2-0	1

雨の降りしきる中、13時45分にLIV.FCのキックオフで試合が開始された。開始早々、NORTEのコーナーキックからのシュートはゴールの上を越えていく。

お互いに攻守の切り替えが早く、両チームともコーナーキックや相手ゴール前まで攻めるが、最後まで諦めない守備で互いに得点を許さない。このまま前半終了かと思われた終了間際のラストプレーでNORTE15番の中盤からのドリブル突破からのミドルシュートが見事に決まる!!ここで前半が終了した。

後半も運動量も落ちずに両チームとも攻守の切替えの速いゲーム展開が続く。そして、14分、LIV.FC41番が競り合いの中からボールを奪い振りぬいたシュートが決まり、同点に追いつく。更に、LIV.FCは19分、49番からのスループアスに抜け出した39番がゴールキーパーの動きを見て冷静にゴールを決めて2対1とした。

NORTEも最後まで諦めず攻め上がるが、LIV.FCも固い守備で守り抜き、試合終了。LIV.FC U-12が、全道大会出場を決めた。

前後半共に両チームとも激しくともフェアな見ごたえのあるゲーム内容であった。



7月3日(日) 美原G Dブロック		
札幌大谷地	JSNサッカークラブ	
1	0-0 1-0	0

50回目を迎えたロバパンカップ全道少年団大会Dブロックは、札幌大谷地とJSNの対戦となった。

小雨が降る中、札幌大谷地のキックオフでゲームが開始。大谷地が押し気味にゲームを進め、惜しいシュートを何本か放つもボールを枠にとらえることができない。両チームとも得点こそ奪えなかったが、代表決定戦らしい緊張感あふれるスリリングな試合を展開し、互いに無得点のまま前半が終了する。

ボールをシンプルにスペースに送り続ける大谷地は、後半9分、10番のクロスボールを7番が冷静に押し込み貴重な先制点を奪う。続いて12分、大谷地10番の右からのクロスボールを7番がタイミングよくとびこみヘディングでゴールをねらうも、JSNのゴールキーパーがはばみゴールを許さない。さらに、13分大谷地10番がゴールキーパーと1対1になりシュートを放つが、惜しくもボールはゴール左へそれて得点ならず。試合終了間際、JSNが遠めのフリーキックをゴールキーパーが前線に上がり直接狙うも、惜しくもボールはクロスバーの上をかすめ得点できず、そのまま1対0で試合終了のホイッスルが鳴る。手に汗握る、緊迫した見応えのあるゲームとなった。

れなかったが、最後まで諦めずに走り続けた姿が素晴らしかった。



7月1日(日) SSS G Eブロック		
SSS 札幌サッカー・スクール	FC Kitago クラッキス	
8	5-0 3-0	0

7月1日(日) SSS G Fブロック		
北海道コンサドーレ 札幌 U-12 B	スポルティング イエロー	
3	0-1 1-0 1 延前0 1 延後0	1

雨が強まる中、12時30分 FC Kitago クラッキスのキックオフで試合開始。

SSSは、終始広めのポゼッションから早いパス回しで、相手チームのディフェンスを崩す作戦。一方のFC Kitago クラッキスは、リトリートした守備から陣形をコンパクトに保ち、ねらいをもってボールを奪いに行き、14番の長身フォワードにボールを入れてくさびに落とす作戦。

SSSは前半2分に1点目を入れると、5分、8分、11分と立て続けにゴールを決め、FC Kitago クラッキスがなかなか攻め返すことができなかった。15分にはSSS4番の左からのクロスボールを11番が頭で決めて、前半は5対0のSSSリードで終了。

後半、SSSは選手を5人入れ替えて始まった。SSSは25分、18番が相手ディフェンスにあたったこぼれ球を押し込み6点目。27分ゴール前での速いパス交換から7点目。最後は35分左サイドから10番、4番、2番と速いパス交換で崩して8点目。

SSSのディフェンスは最後まで手堅く、FC Kitago クラッキスは、なかなか決定的な場面を作

小雨の中、スポルティングのキックオフで試合が開始された。コンサドーレは3-2-2、スポルティングは3-3-1のシステム。前半1分、コンサ18番が中央から抜け出てシュートを放つがゴールキーパーに弾かれた。スポルティングがやや優勢に進める中、3分には右サイドの10番からのパスを中央で受けた19番がドリブルからシュートを決めて、スポルティングが先制する。直後にも7番がフリーキックを直接ねらうもゴールならず、5分には右サイドから10番がクロスあげ9番がゴール前で合わせるが、ゴールキーパーがキャッチする。この後、コンサのゴールキーパーが負傷交代する。9分頃からコンサが徐々にポゼッション率を高めていく。10分には7番、9番と続けてシュートチャンスが訪れるがゴールとはならなかった。15分、16分にはコンサがコーナーキックのチャンスをつかむが決定機は作れなかった。その後、一進一退の攻防の中、スポルティングの3バックがコンサの2トップに仕事をさせず、前半を終了した。

後半5分にコンサ 17 番が中央から強烈なシュートを放つが、ゴールキーパーに弾かれる。7分、コンサが左サイドの若干遠い位置からのフリーキックを7番が直接狙うがまたもゴールキーパーにはばまれ、さらにコーナーキックからのボールを再び7番が合わせるが、シュートはゴールの右側に外れた。13分にもペナルティーエリア右角付近でのフリーキックを得たコンサは5番が直接ゴールをねらったが大きく左へ外れた。17分、コンサ 34 番が中盤やや左でボールを受けてそのままドリブル、ゴール右隅に決めて同点に追いつく。後半はコンサのセンターバック 35 番がスポルティングの FW19 番を封じ込めていたが、18分にペナルティーエリア内で19番を倒し痛恨のPK。しかし、スポルティング7番のPKは、ゴールキーパーにセーブされた。

このまま延長戦に突入。すると、延長前半1分コンサ 18 番が右サイドを突破し、ゴールライン付近からマイナスのボールを送りゴール前で34番が落ち着いて決め、2-1と逆転に成功。さらに延長後半2分コンサ 26 番がドリブルで中央突破を図りゴール左へダメ押しの3点目を決めた。コンサドーレは焦らずじっくり攻め、逆転勝利を収めたが、スポルティングも最後まで粘り強く戦い、健闘が光った。



7月1日(日) SSS G Gブロック		
石狩FCレッド		上江別 Jr
3	2-1 1-0	1

気温 27 度 湿度 70% ムシムシとした雨の中 12:30 キックオフの笛が鳴る。

ゲームは早い時間から動き出した。前半3分 上江別 Jr 10 番が最初のシュートを打つが、ゴール左側にそれてしまう、しかしその後、石狩 FC レッド 16 番が一人で切り込みチャンスを作るがオフサイドとなり、激しい攻守攻防が開始された。4分、上江別 Jr 10 番が再度一人で果敢にドリブルで切り込みシュート!! 水しぶきを上げながらボールはゴールに吸い込まれ先制点を挙げる。

今度は5分、石狩FCレッド6番も一人で果敢にドリブルで切り込みゴールキーパーをかわし無人のゴールにボールを流し込み同点とする。

激しい攻守攻防が落ち着き始めると、石狩 FC レッドのピッチ両サイドを広く使う試合運びで、江別 Jr を追い込み始めた。13分、石狩FCレッド3番からのパスを17番が合わせシュート。これが追加点となり、2対1となる。上江別 Jr DF の頑張りを見せるが、このまま前半が終了する。

2:55、後半開始。前半同様、上江別 Jr 陣地内でのゲームが続く。石狩 FC レッドのボールを巧みに奪って上江別 Jr も攻め上がるが、セカンドボールを奪われるシーンが多く見られるようになる。後半10分、石狩FCレッド3番のループシュートが決まり、3対1と突き放した。これが決勝点となり、石狩FCレッドが全道大会出場となる。

7月1日(日) SSS G Hブロック		
AGGRE U-12		上白石
5	4-0 1-2	2

蒸し暑い13時20分、AGGREのキックオフで試合開始。AGGREは序盤から優勢に試合を進める。開始間もない2分、ペナルティーエリア内でAGGRE3番からのパスを受けた9番がシュートを放つ。一旦は上白石ゴールキーパーが弾くが、詰めていた9番が再度シュート。1点を先制する。直後の4分、またもやAGGRE9番がドリブルで仕掛ける。巧みな個人技で相手をかわし、ペナルティーエリアに侵入するとそのままシュート。追加点を奪う。攻撃のリズムを掴んだAGGREは、10分、10番からペナルティーエリア内でパスを受けた9番がドリブルで仕掛ける。前に出てきたゴールキーパーをうま

くかわしシュート。3点目を決める。前半はその後も AGGRE ペースで試合が進み、終了間際の19分4番からのコーナーキックを9番が頭で合わせゴール。4点差としたところで前半が終了した。

後半、何とか追いつきたい上白石はキックオフ直後にパスを受けた5番が右サイドのドリブル突破を試みるが、相手DFにはばまれる。逆に AGGRE は5分にコーナーキックのチャンス。4番のコーナーキックを9番がゴール右隅に決め、5対0と突き放す。上白石は7分、味方からゴール前でパスを受けた7番がシュート。1点を返す。この時間帯からだんだんと上白石の攻撃が増えていく。16分には上白石9番がドリブルからゴール右隅に流し込み2点目。得点差を3点にするもそのままタイムアップ。5対2で、AGGRE U-12が全道大会進出を決めた。



全道大会の結果は道協会のHPをご覧ください。